

第2回 築港中学校 学校跡地活用検討会議 会議要旨

1 日 時 令和7年9月11日(木) 19時45分～20時30分

2 場 所 港中学校 多目的室

3 出席者

(委員)

西谷委員、斎藤委員、阪上委員、有田委員、

黒川委員、杣友委員

(港区役所)

山口区長、磯村副区長、今田エリア開発推進担当課長、村上教育担当

課長、早川エリア開発推進担当課長代理

(大阪港湾局)

三井大阪港湾局まちづくり事業調整担当課長、森岡大阪港湾局建築

計画担当課長代理

(教育委員会)

北川港中学校校長、西村築港中学校校長

4 議 題

(1) 築港中学校 学校跡地活用検討について(校内建物調査等)

(2) 築港地域まちづくりの検討状況について

(3) 意見交換

5 会議資料

(1) 築港中学校 学校跡地活用検討について

(2) 築港南地区再開発に係るマーケット・サウンディングの結果の概要

6 議事要旨

(1) 港区長 あいさつ

(2) 港区役所から資料説明

(3) 大阪港湾局から資料説明

(4) 質疑

(委員)

- ・築港南のまちづくりについて、背後地Bには現在、民間倉庫や赤レンガ倉庫があるが移転することになるのか。また、埋立地部分に防潮堤があるがどうするのか。

(大阪港湾局)

- ・背後地Bの移転は決まっていない。防潮堤は、埋立地をどうするかの中で考えていく。干潟という案もあり今後考えていくことになる。

(委員)

- ・学校跡地について事業者に貸付との説明だが、今までどおり地域で利用できるのか。

(港区役所)

- ・跡地については未利用地として売却が基本だが、地域防災拠点として必要であるため、市の所有として残すことになる。

(委員)

- ・その場合、民間に任すことになるのか。門真の高校跡地では地域がスポーツ等で継続して使用しているのだからどうなのか。

(区役所)

- ・建物の維持管理費も必要となることから、民間事業者に貸付することにより収入を得る必要がある。いろいろご意見をお聞きして、貸付に向けた募集要項をつくっていくことになる。

(委員)

- ・コンクリートの強度検査について、校舎の建物はどれくらい使用できるのか。
- ・また体育館はどうなのか。

(区役所)

- ・鉄筋コンクリート造は65年が目安、長寿命化することで80年使用できるという考えがある。
- ・体育館はこれから調査することになる。

(委員)

- ・客船の受け入れについて、南側岸壁も使用して増やしていくという考えはないのか。

(大阪港湾局)

- ・話は出ている。スーパーヨットの受け入れも話題になっており、埋立地に接岸できるかなど、今後検討していくことになる。

(委員)

- ・学校での体育施設事業はいつまで使用できるのか。現在使用している地域活動はぜひ続けられるよう検討してほしい。

(区役所)

- ・フォーマルでいえば、学校閉鎖の9年3月までだが、民間事業者への貸付条件等の検討、事業者との調整などによる。貸付時には地域の使用実績も示して、地域の意見も伝えていきたい。

(委員)

- ・築港南のまちづくりと学校跡地は連携して検討してもらいたい。一方だけ華やかになり学校だけ離れた感じでは困る。
- ・ただ、時期として、築港のまちづくりについては、埋立地の再開など時間がかかるので、学校跡地とは一定切り離して、先に学校跡地の検討を進めていくことになるのであろう。